

納入仕様書

SH-2002-2.0W

受領印欄

三菱レイヨン株式会社

光デバイス部

〒108-8506 東京都港区港南1-6-41

TEL:03-5495-3060

FAX:03-5495-3212

出図:光デバイス部

作成:光デバイス部

作成	点検	承認

--

No.0

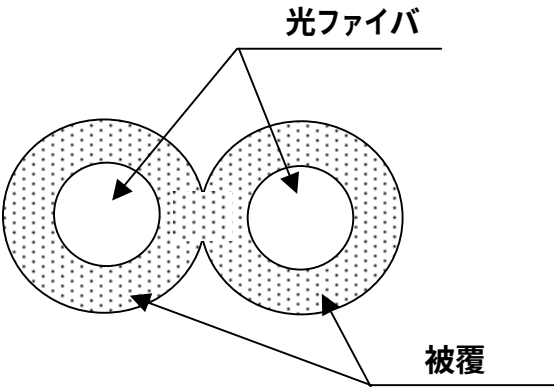
1. 構造及び特性：

(1) 構造表

SH-2002-2.0W

項 目			規 格 値			
			単位	最小値	標準値	最大値
光ファイバ素線	コア材料		—	ポリメチルメタクリレート樹脂		
	クラッド材料		—	フッ素樹脂		
	コア屈折率		—	1.49		
	屈折率分布		—	ステップインデックス型		
	NA		—	0.5		
	コア直径		μ m	455	485	515
	クラッド直径		μ m	470	500	530
ファイバ本数			本	2		
被覆	材質		—	ポリエチレン樹脂		
	色		—	黒		
	外径	短径	mm	0.95	1.00	1.05
		長径	mm	1.93	2.00	2.07
概算重量			g/m	2		
表示			—	片芯, 白色ライン		

構造図



(2) 特性表

SH-2002-2.0W

項目		試 験 条 件 他	規 格 値			
			単位	最小値	標準値	最大値
最大定格	保存温度範囲	変質その他なし	℃	- 55	—	+ 70
	使用温度範囲	伝送特性異常なし*	℃	- 55	—	+ 70
		95%RHで伝送特性異常なし**	℃	—	—	+ 60
伝送特性	伝送損失 (平行光)	波長 650nm, 25℃ 50%RH	dB/km	—	—	210
	同上	波長 650nm, 使用温度範囲	dB/km	—	—	230
機械特性	最小曲げ半径	90° 静置屈曲 損失増加 0.5dB 以下***	mm	15	—	—
	繰り返し曲げ回数	JIS C 6861 準拠試験法 損失増加 1 dB以下****	回	10,000	—	—
	最大ねじり回数	ファイバ長1m、回復 損失増加 1 dB以下	回	2	—	—
	引張り強度	JIS C 6861 準拠試験法 5%伸び強度	N	36	—	—
	耐衝撃強度	JIS C 6861 準拠試験法 損失増加 1 dB以下	N・m	—	—	—
	耐側圧強度	JIS C 6861 準拠試験法 損失増加 1 dB以下	N/mm	—	—	—

温度条件の無き場合は、室温 (25℃) 環境下とする。

* 1,000時間後の伝送損失の増加が規格値に対して10%以内 (当社試験規定による)

** 1,000時間後の伝送損失の増加が規格値に対して10%以内 (吸湿による一時的増加分を除く, 当社試験規定による)

*** 短径方向に限る

**** 屈曲±90度 / 1サイクル 15mmR 荷重 1,000g